

ネットワーク情報学部

学部長賞受賞者

商学部

◀ 商学部長賞の表彰式(2月4日、生田キャンパス)



勉学、スポーツ、課外活動などで顕著な成績を収めた学生を表彰する商学部とネットワーク情報学部の学部長賞の受賞者が発表された。

【商学部】
 学部長賞に団体1、個人13、同奨励賞に団体7、個人1が選ばれた。
 表彰者は次の通り(敬称略。カッコ内は学年)。
 ※は本紙の掲載号。奨励賞は代表者のみ掲載。
 ◆学部長賞◆
 ▼小野野也(3) ▼宮田英嗣(4) ▼神保輝輝(4) ▼小林貴之(4) ※以上、520号既報▼
 窪田子(4) ▼茂木好太、西方拓海、丸山真衣、矢部留里子(全員3) ※521号既報▼
 濱本隆子(3) ▼山崎希さん、池亀夏輝さん、戸高佑樹さん(いずれも3年次生)の4人が選ばれた。
 4人は「第4回かながわNPO映像祭」に、NPO法人日本災害救護推進協議会の活動を紹介する「相互救護をめざし」と題した作品を出展し、優秀賞を受賞した。

【ネットワーク情報学部】
 ▼神原理(3) ▼境野美月(3) ▼成岡浩一(3) ▼田山夢(3) ▼国田清志(3) ▼岩田光平(3) ▼高橋義仁(3) ▼山賀美裕(3) ▼国田清志(3) ▼長谷川翔平(3) ※以上、521号既報▼
 渡辺達朗(3) ▼落合美有紀(3) ※521号既報▼
 前川明(3) ▼中山亮(3) ※520号既報▼
 井井愛(3) ※520号既報▼

防災体験 教室開く

2011年の東日本大震災からまる3年になる3月11日、学生部主催による「自分の身を守る防災体験」東日本大震災から3年を迎える今！危機意識を見直そうと、生田キャンパスの広場で開かれた「写真」。

いつ発生してもおかしくない首都直下型地震などの災害に備え、本学の近隣に住む方や働く方たちと共に防災意識を高め

よう——と初めて企画された。
 千代田区環境安全部防災・危機管理課や災害救援ボランティア推進委員会などの協力により、起震車・消火・AED取り扱い・非常食試食・自家発電などの体験コーナーが設置され、学生や教職員、役員、近隣の方々と約100人が体験し、参加者には非常食などが配布された。

学生部ボランティア推進委員会傘下団体である「SKV」(専修生田ボランティア)は日ごろ、防災教育や清掃活動を



通して地域に貢献している。今回は非常食・紙食器作りを担当した。遠藤直哉代表(法2)らメンバー6人は2班に分かれ、水の代わりに缶コーヒーや野菜ジュースを利用し、炊飯する方法や、コピーの裏紙を利用した簡単な皿作りの方法を伝授。多くの学生や区民が興味深そうに見守った。

新校友を激励

新校友の門出を祝う「新校友歓迎祝賀会」が3月22日、生田キャンパスで開催された。卒業式・学位記授与式を終えたばかりの卒業生が多数参加。甘竹秀雄校友会長、日高義博理事長、矢野建一学長、坂田隆石巻専修大学長、瀬在義夫校友会会長をはじめ多くの来賓も出席し、新校友を激励した。



SIV 幼児誘拐防止教室

2月24日、川崎市多摩区寺尾の桐光学園寺尾みどりの幼稚園で、学生部ボランティア推進委員会傘下団体「SIV」(専修生田ボランティア)メンバーと多摩警察署員が園児約300人を前に誘拐防止教室を開いた「写真」。

ウサギの「ミミちゃん」が知らない人に声をかけられた。さあどうしよう——の設定で、犯罪に巻き込まれないために、日ごろどんなことに

漫画研究同好会 エジプト

知床(文学部3)



注意したらいいかを園児たちと一緒に考えた。園児たちが実際に舞台上で園児たちは誘拐の危険性をよく分かってくれた」と話した。「SIV」は、生田キャンパス界隈の防災・防犯・清掃活動で地域貢献に励んでいる。

また日本女子アマチュアゴルフ選手権などでも

校友・文平さん 本学に寄付

校友の文平友恵さん(平5商)とご両親の光太郎さん(故人)と比砂子さんが、本学の教育研究振興協力資金に多額の寄付を贈られた。

友恵さんは、体育会ゴルフ部出身で、全日本学生女子団体戦で3連覇を成し遂げた。

また日本女子アマチュアゴルフ選手権などでも

専修人の新しい本
 地図で読む東京大空襲 両国生まれの実体験をもとに
 京大空襲前後の両国や空襲を受けた地方都市の様子を再現している。
 1939年、両国に生まれた菊地さんは就学前に空襲を体験。「空襲以前の楽しかった思い出、空襲時に見聞した悲惨な光景、遠くまで見渡せた焼け跡のことを記述しようと思った」「はじめに「より」という思いが伝わる一冊だ。」
 『地図』が語る日本の歴史『和紙の里 探訪記』に続く3冊目の著作。(草思社・本体2200円十税)

教育研究振興協力資金募金のお願い
 専修大学は、1880年(明治13年)の創立以来、多くの方々に支えられて今日に至っております。
 現在、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に置き、人間性豊かな倫理観のある人材の育成を目指し、骨太の大学改革に取り組んでおります。創立140年、そして150年に向けてさらなる躍進を続けるために、皆様方のご支援、ご協力を賜りますことを切にお願い申し上げます。
 専修大学募金局 ☎03・3265・3157 ※詳しくはホームページをご覧ください。ネットバンクを使ったホームページからの振り込みと、コンビニエンスストアからの振り込みができるようになります。

専修人の新しい本